

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)						
審査委員会受付 番号	2016-1017	利用するもの	情報:ゲノム情報(全ゲノム、SNP アレイ)、アンケート情報、検査 値情報			
主たる研究機関	国際医療センター		分担研究機 関	東北メディカル・メガバンク機構 Common Complex Traits International Consortium		
研究題目	血圧・高血圧の GWAS meta-analysis に関する国際コンソーシアム			研究期間	平成 28 年 10 月 4 日～平成 30 年 3 月 31 日	
実施責任者	加藤規弘	所属	国立国際医療研究センター	職位	センター長	
研究目的と意義	血圧値に関する GWAS meta-analysis を国際レベルで実施し、effect size や standard error などの summary data を統合することにより、高血圧の原因遺伝子を同定する。					
研究計画概要	<p>国際医療センター加藤部長を中心としたチームは、これまで、東アジア人 (AGEN)、さらに3人種のコンソーシアム (iGEN-BP) を作り、血圧・高血圧の GWAS meta-analysis を進めてきた。その規模は順次拡大し、現在、さらに拡張した国際コンソーシアムが動いており(すでに解析作業を開始)、その検体総数 (discovery stage) は 50 万人を超える状況にある。</p> <p>数ある common complex traits (common diseases) の国際コンソーシアムの中で、血圧・高血圧は、日本が一定の leadership を取り得る分野であるため、all Japan の連携体制をという趣旨で東北メディカル・メガバンク事業に対する協力依頼がなされた。研究対象は、収縮期血圧、拡張期血圧、平均血圧、脈圧で、降圧治療がなされている場合一定の補正值を使用する。連続量分析を行う場合、それぞれの血圧値と SNP の関連を性・年齢調整の後線形回帰分析を行う。症例対照研究としては症例は 65 歳未満発症で収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg 以上または降圧薬内服者。対照は 50 歳以上で収縮期血圧 130mmHg 未満かつ拡張期血圧 85mmHg 未満で降圧薬を服用していない者として性調整ロジスティック回帰分析を行う。解析した effect size や standard error などの summary data は国際医療センターにおいて統合解析される。</p>					
期待される成果	高血圧の原因遺伝子を大規模なメタアナリシスで同定する					
これまでの倫理審査等の経過および 主な議論	すでに分譲を受けている「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」で実施する高血圧の網羅的遺伝子解析結果のサマリーデータの提供を行う。					
倫理面、セキュリ ティ面への配慮	「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」はすでに試料分譲委員会の承認を受けている。 サマリーデータのための提供のため、倫理・セキュリティ上の問題はない。					
その他特記事項						
* 公開日	平成 29 年 8 月 23 日					
* 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。	岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)					